# おがまち 日奈久ニュース

令和８年１１月号
（第２０７号）
発行者
日奈久住民自治会

## 今田徳次郎氏（日奈久住民自治会前会長）ご逝去
### ９年間会長として日奈久のために尽力


今田徳次郎氏

10月3日、日奈久住民自治会前会長の今田徳次郎氏が、ご逝去されました。69歳でした。

今田徳次郎氏は、平成25年住民自治会創立時から副会長を歴任し、平成29年に平田啓爾氏から引き継いで令和８年3月末まで日奈久住民自治会長として尽力されました。また、湯の里日奈久振興会会長、八代市消防団第26分団長、日奈久中学校ＰＴＡ会長を務められました。「九月は日奈久で山頭火」の実行委員長も18年間務められました。

このたび、永年にわたり我が校区の発展と住民自治の推進に多大なるご尽力をされました、住民自治会前会長の今田徳次郎様がご逝去されました。突然の悲報に接し、校区住民一同深い悲しみに包まれております。ここに謹んで哀悼の意を表します。

今田様は、在任中、地域の未来を思う強いリーダーシップで常に活動を牽引してくださいました。その温厚なお人柄と住民ファーストの姿勢は、私たち後進の大きな道標でありました。

今田様が築き上げられたこの温かい地域コミュニティを絶やすことなく、次の世代へと引き継いでいくことが、今後の日奈久住民自治会の使命であると強く感じております。これからの時代、地域の課題を解決し、より豊かな街にしていくためには、住民の皆様一人ひとりが主役となり、共に手を取り合って新しい価値を生み出す「共創（きょうそう）」の精神が欠かせません。今田様が示してくださった情熱を胸に、私たちは一丸となって「共に創る」地域の未来へ歩みを進めてまいります。

最後になりましたが、これまでの多大なるご功績に心からの敬意と感謝を申し上げ、今田様のご冥福を心よりお祈り申し上げるとともに、ご遺族の皆様に深くお悔やみ申し上げます。

なお、喪主の今田芙美子様から、香典返しとして、住民自治会へ寄付を頂きました。ありがとうございました。

追悼

合掌



### 今田徳次郎様のご逝去を悼んで
日奈久住民自治会会長　山本一樹

今田様との出会いは、平成21年に発足した日奈久住民自治会の前身の日奈久まちづくり協議会でした。社業の日奈久水産の社長として多忙な中、開湯600年祭、日本中央競馬会場外勝馬投票券発売所の誘致、広報紙の創刊、津森小学校遷難の碑建立、おもてなしのバンコ（木製ベンチ）及び杖の設置、アジサイ一人一株運動など目白押しの事業を推進してこられました。

酒席でもざっくばらんで優しい人柄で、希望と活気に満ちた郷土づくりについて、時を忘れ夜遅くまで意見を交わしたことが思い起こされます。

西方浄土には、新たな世界があるとも言います。日奈久の地域活動で会長、副会長として永年コンビで活動された平田啓爾さんと再会されると思いますが、ゆっくりと盃を交わしてください。

最後になりましたが、「あなたの意思を引き継いで頑張りますので、私どもを見守ってください」

合掌

## 「ありがとう」が行き交うまち　日奈久
### 身近な人に「ありがとう」
### 愛する日奈久に「ありがとう」
### 訪れる人に「ありがとう」




## マルショク日奈久店閉店
### 今後について模索

今回の熊本地震で被害を受け、9月20日をもって46年間日奈久を支えてきたマルショク日奈久店が閉店を決めました。マルショク日奈久店は、日奈久校区のみでなく、近隣の金剛、一見、坂本、田浦等の貴重な購買施設であったことから、9月30日（水）に日奈久ゆめ倉庫で懇談会が行われました。

参加したのは、株式会社サンリブの執行役員2人、八代市より商工政策課から2人、金剛、坂本、日奈久地区の住民自治会の代表総勢12人でした。

まず日奈久住民自治会の山本一樹会長が、「46年間日奈久のために営業していただき、感謝申し上げます。このたびの地震で閉店がきまり、日奈久はもとより近隣の地域住民が買い物難民の状態になっているので、どうにかして再開してもらえないでしょうか」と挨拶しました。

サンリブからは、駐車場や店内の床が隆起し、鉄骨が斜めになったり作業場には亀裂が入ったりしていることや冷蔵庫が斜めに傾き使えなくなっていること。空調も半分以上使えなくなっていることなど被害状況の説明がありました。

各地区の代表からも、「マルショク日奈久店がなくなると生活に大きな影響があり、どうにか再開をお願いできないか」との強い要望が出されました。

サンリブからは「専門家に見てもらったところ安全性に大きな問題があり、再開は無理であるとの結論が出た。1980年建設の建物は耐震基準も古く、次に大きな地震が予想される状況では、耐えられない状況である」との説明でした。


マルショクの役員（奥の2人）と懇談

市からは、日奈久住民自治会と市議会から再開の要望書が出されていること。県の復興支援が始まるので、それを活用して何らかの対応ができないか検討をしているとの説明がありました。参加者から仮設店舗建設の要望が出されました。

10月8日（木）には、八代市職員4人、市議会議員の山本幸廣氏、北園武広氏、中山諭扶哉氏をはじめ、市政協力員代表や民児協代表、婦人会代表、日奈久住民自治会役員が参加し、懇談会が開催されました。

市からは、「地域や議会から要望書が出されたが、その前日に閉店が決まった。サンリブからは、要望書をもとに検討しているとの回答が来ている。もし再開が無理な場合は、違うスーパーの誘致を検討していきたい」と説明がありました。また、移動販売等の支援の充実を図るとの説明がありました。

山本会長からは、「とにかく日々の買い物に困窮しているので、マルショクの再開ができるできないにかかわらず仮設の店舗を建設して欲しい」との要望が出されました。3議員からも「坂本が水害の被害があったときも仮設店舗ができた。日奈久にできないはずはないので、早急に検討し実現していって欲しい」と市への意見が出されました。

市からは、「仮設店舗の場所やその中に入る事業者を募集して、仮設店舗の実現を急ぎたいと思う。合わせてサンリブへの陳情を進めたいので、住民自治会と協力してサンリブに出向いていきたい。そして、仮設店舗と新しい店舗の誘致を同時進行で検討し、早急に取り組んでいきたい」との回答がありました。

山本会長は、「陳情には、住民自治会からも是非行くつもりであったので、協力していきます」と話しました。

## 日奈久校区 自主防災会総会

延期されていた日奈久校区自主防災会総会を11月9日（月）19時より、ゆめ倉庫で開催します。予定されていた危機管理課の講話はありません。班員はもちろん誰でも参加できます。

多数の参加をお待ちしています。

## スポーツ協会からのお知らせ

11月に予定されていたソフトバレー大会は中止となりました。

## 日奈久阿蘇神社例大祭斎行

10月15日（木）日奈久阿蘇神社では恒例の例大祭が行われました。今年は、熊本地震の影響で、午前10時から神事のみの開催となりました。

なお、みずほ保育園の主催で、園児達による乙女の舞や神輿行列、相撲大会が開催されました。

（請前　塩北・新開町）


厳粛な神事


彩りを添えた乙女の舞

## 日奈久復興マルシェ開店
### ホテル潮青閣にて

10月15日（木）午前11時に開店した日奈久復興マルシェ。以前マルショクにて営業していた小川鮮魚（株）が営業を始めました。

魚はもちろん、肉や野菜、果物、牛乳や豆腐、総菜も並び、多くの買い物客で賑わいました。「当面は、午前11時から夕方5時頃まで営業し、慣れたら9時ぐらいから始めようと


買い物客で賑わう復興マルシェ

## 敬老会の祝いの品仕分け
### 婦人会会員が活躍

10月9日（金）日奈久ゆめ倉庫に駆けつけた婦人会会員は、各町内毎に分かれたテーブルの上で、敬老会の祝いの品を仕分けしました。

今年の敬老会の対象者は、77歳以上の746人（施設入居者49人を含む）でした。この日から12日までに各家庭を訪問して配付されました。


町内毎に仕分ける婦人会会員

## 11月の行事から

3日（火）文化の日
9日（月）自主防災会総会
14日（土）日奈久中学校文化祭
15日（日）温泉神社例大祭
16日（月）日奈久美術展～23日
23日（月）勤労感謝の日

〈会　議　等〉
13日（金）市政協力員例会
13日（金）運営委員会
18日（水）広報部会

## 日奈久の人口
（９月末現在）

| | |
|---|---|
| 男 | 971人 |
| 女 | 1,167人 |
| 計 | 2,138人 |
| （前月比－９人） | |
| （2009年末3,444人） | |

## 日奈久住民自治会防災訓練

9月29日（火）午後2時から、日奈久ゆめ倉庫で善立寺主催の「桂弥っこ落語会」が開催されました。「復興支援の一環として、少しでも楽しいひとときを過ごしていただいたらと思い企画しました」と西山信彦住職が挨拶をしました。

桂弥っこさんの軽妙な語りと演技に笑いが起こり、温かい雰囲気が広がりました。参加した人は、「心が晴れやかになりました。面白かったです。さすがプロですね。久しぶりに楽しかった」と感想を述べました。


落語を披露する
桂弥っこさん

## 笑いで元気を届ける
### 「桂弥っこ落語会」開催

## 日奈久における移動販売車による買い物情報

※移動販売車が日奈久に来ています。

＊フナツの移動販売車
○**水曜日**15時45分～16時　善立寺で
16時～16時15分
東町　元高藤文具店前で
○**月・金曜日**（祝日で変更あり）
13時～16時　ばんぺい湯前で

## 義援金・寄付金をいただきました

ヤマダキャノンサービス山田重典様（竹之内町）から熊本地震復興支援義援金を、山下町の丸下鉄夫様から寄付金を日奈久住民自治会へいただきました。有効活用させていただきます。ありがとうございました。

# 第27回九月は日奈久で山頭火
## 行乞記朗読会・日奈久シネマ・俳句募集を開催

9月21日（月）敬老の日にゆめ倉庫で午後1時半から**行乞記朗読会**が行われました。

橋本勝利新実行委員長から「地震を受けての開催で、全ての企画を取りやめるのではなく、やれることを少しでもやろうと計画した」と挨拶がありました。

行乞記朗読は、全国で日奈久にしか残っていない山頭火が泊まった木賃宿「織屋」を若い人たちに大切につなげていってほしいと日奈久中にお願いしている取組です。

今回は、三年生北園快生翔さん、岡山姫里さんが暑い中の練習にも熱心に参加し、当日は善立寺住職西山信彦さんと三人で息の合った朗読の声が会場に響き渡りました。


行乞記を朗読する3人

午後2時からは**日奈久シネマ**「かぞくいろ」の映画上映。住民自治会が作ったポップコーンを食べながらのゆめ倉庫映画館。観客は50人。おれんじ鉄道運転士（國村隼）、10歳の義理の息子の母親（有村架純）らが織りなす「かぞく」の物語に涙している人々がたくさんいました。

会場には、京都の写真愛好家服部さんのおれんじ鉄道写真展と、おれんじ鉄道元社員奈良山さんのジオラマも展示されました。

**俳句募集**は、一般175句、ジュニア151句が集まり、前山光則さん（作家）山下しげ人さん（俳誌「阿蘇」主宰）の選で次の方々の俳句が入賞作品として選ばれました。

**第27回「九月は日奈久で山頭火」俳句入賞作品**

【大賞】
被災地の夜すがら虫の声透る
船間　和子（八代市）

―一般の部―
【秀作】
水俣を生きし年月ちちろ鳴く
中根タミ子（八代市）
笹舟を競ふ小川の水澄めり
寺本こう子（熊本市）
ふるさとの大きな空や柿熟るる
豊田規容子（熊本市）
【入選】
宮澄陸子（美里町）松本オハナ（熊本市）今村雅美（合志市）
吉野倫生（熊本市）村上朋子（熊本市）
―ジュニアの部―
【秀作】
逃げ水が遠く遠くへ消えて行く
北野　夏蓮（鏡中二年）
願い事線香花火おちるまで
平田　結愛（日奈久中三年）
指先をじっと見つめる赤トンボ
永田稟ノ介（第一中三年）
【入選】
森川まどか（八千把小五年）本村まつり（日奈久中二年）平山健斗（日奈久中二年）白石三雲（第七中三年）下田夏美（千丁中三年）
【選者特選】
前山光則選
筆薬や照葉のつつむ五家荘
清水　明美（八代市）
山下しげ人選
仰ぐたび拡がってゆく鰯雲
力　幸子（菊陽町）

## 優勝おめでとう！日奈久っ子大活躍
### 第52回熊日学童オリンピック卓球大会
### 女子Cクラス個人　杉本乃彩さん（日奈久小5年　中町）

9月21日（月・祝日）に熊本県立総合体育館で開催された第52回熊日学童オリンピック卓球大会Cクラスにおいて、DREAM火流の杉本乃彩さんが女子シングルスで見事優勝しました。なんと準決勝に、日奈久っ子が3人進み、杉本さんは準決勝、決勝と日奈久っ子対決を勝ち抜き、優勝しました。決勝の前に「Cクラスだけど恥ずかしくない試合をしなさい」と品田美香コーチに言われて、辛抱強く返して栄冠をつかみました。「相手がカットマンだったので、ツッツキの試合展開になりミスをするのが怖かった。もっと攻撃をしたかった」と杉本さん。

なお準優勝は、同じDREAM火流の山本梢さん（6年、新開町）3位が中武花澄さん（6年、塩北町）と大活躍でした。

また中武さん、杉本さん、猪原恵梨奈さん（5年、竹之内町）の3人で出場した団体戦は、見事3位を獲得しました。

男子Cクラス個人では、北園倫功君（5年、新田町）が見事準優勝を果たしました。


前列左から杉本さん、北園君、後列左から山本さん、中武さん

DREAM火流は、毎週水曜日と金曜日、夜7時から日奈久小体育館で練習をしています。卓球部員を募集しています。

## ゴリパラが日奈久に届けてくれた元気


炊き出しをするゴリけんさん（右から2人目）と中村さん（中央奥）

新田町　本田亮二

9月24日（木）日奈久ゆめ倉庫で「ゴリパラカレー」の炊き出しが行われました。

熊本地震で被災した日奈久を元気づけようと、ゴリけんさん、パラシュート部隊の二人が駆けつけ、約400食のカレーを振る舞ってくれました。会場には多くの地域の人が集まり、カレーを囲んで笑顔が広がり、ミニライブでは大いに盛り上がりました。先月にはゴリパラ義援金として、総料理長をされている中村淳太郎さん（中町出身）です。

中村さんは、故郷日奈久の惨状を心配して、シルバーウィーク後に日奈久に里帰りをされ、義援金を贈呈されました。前日にはカレーを約400食提供され、竹輪入りカレーの美味しさを世に広めました。


山本住民自治会長に義援金を届ける中村氏（右）

義援金、本当にありがとうございました。「他の義援金と合わせて復興支援のために使用したい」と山本会長は話しました。

## 福井県あわら温泉から義援金届く

9月25日（金）ゆめ倉庫で、あわら温泉調理師会芦親会から日奈久住民自治会に令和8年熊本地震復興支援義援金の贈呈がありました。芦親会を代表して義援金を届けていただいたのは、ゴリけんさんと同窓生のあわら温泉清風荘で約117万円を湯の里日奈久振興会へ寄付もしていただきました。

実は、ゴリけんさんと私は同級生。昔から明るく、みんなを楽しませることが大好きな男でした。大学卒業後、芸人を目指して頑張り、苦労した時期を乗り越え、今では故郷に錦を飾るほどになったことを、同級生として本当に嬉しく思います。

当日、TKUの取材を受け感極まって思わず涙している彼を見て、こちらも胸が熱くなりました。日奈久にたくさんの笑顔と元気を届けてくれたゴリパラの皆さん、本当にありがとうございました。

## 「一緒に日奈久を盛り上げていきましょう」
## 女優の常盤貴子さん日奈久でボランティア活動に汗

ヒナグ珈琲店　松本花織

女優の常盤貴子さんが、10月6日（火）に日奈久を訪問し、支援活動をされました。

1日目は、不知火ホテルさんへペット連れ避難者向けのフードを、桜花さんへ地域猫用フードを届け、日奈久コミュニティセンターではヒナグ珈琲店のドリンクや支援物資を配布されました。

2日目は、HINAGOODのボランティアとして松の湯の瓦礫撤去や鏡屋の災害ゴミの片付けに参加。善立寺ではお弁当を囲み、日奈久ちくわも「とても美味しかった」と購入されました。避難者や地域住民との交流も深め、「これから一緒に日奈久を盛り上げていきましょう」と温かいメッセージをくださいました。


作業した皆さんと常盤さん（前列左）

## みんなで楽しくイチゴの苗植えイベント開催

9月26日（土）午前8時には、大坪町の山下辰巳さんのイチゴハウスに約150人が集合しました。

このイチゴ苗植えイベントは毎年開催されています。山下さんがスターバックスの使用済みコーヒー豆を肥料として利用している縁で、従業員やその家族がおそろいのシャツで参加しました。他にも地域住民や熊本市の保育園、山下さんの知り合いや子供さんの同級生や友達、日奈久中学校からも生徒と先生が駆けつけました。

参加者は、たくさんの苗を運び出し、農園に配ったり、苗を丁寧に植え付けたりしました。約2時間半ほどで広いハウスの中の定植が終了しました。また、参加者には、日奈久の特産品のお土産が配布されました。


参加者へ配られた日奈久特産品のお土産


次々に植え付けられるイチゴの苗

山下亜矢子さんは、「たくさんの方々に恵まれているなと感じたイチゴの苗植えでした。今日の作業を通じて、農業の大変さと楽しさや魅力が伝われば良いなと思いました。たくさんの方に手土産で日奈久の特産物を持ち帰ってもらったのでまた日奈久にみんなが足を運んでくれることを願っています」と笑顔で話しました。


作業を終えて記念撮影

広　告　欄